

# どんぐりだより

第31号



横浜シュタイナーどんぐりのおうちをささえる会

## 楽しい給食の時間

担任教師 横山 径子



昨年の秋から玄米ご飯と野菜の味噌汁の給食を始めました。始めた理由は以下の2点からです。温かいご飯を皆で食べる日があるといいと思ったこと。食べ物に感謝し、食べることを楽しんでほしいと思ったこと。

お家より野菜を持ち寄ってもらいます。野菜をたっぷり持ってきていただけなので、週2回を給食にしました。野菜は、玉ねぎ、にんじん、じゃがいもなど根菜類を中心にきのこや葉物、旬の野菜などいろいろと集まります。給食にすると食べ慣れたお家のご飯ではないので、時に思わぬことが起こります。

春に子どもが掘ったタケノコがありました。給食の準備の時も皆でタケノコのお味噌汁が楽しみと話しながら準備をしました。お昼ご飯の前にはお話の時間があるのですが、お話が終わった時にある子どもが急に泣き出しました。皆で“どうしたの？”と心配して声をかけましたが、なかなか泣き止みません。でもお腹はすいていると言います。

いつもは給食が大好きなのにと思って聞いてみるとタケノコが苦手とのこと。それが気になって悲しくて泣き出てしまったようです。お味噌汁のお椀には入れないから大丈夫とお話して安心してご飯を食べ始めました。他の子どもたちも「タケノコ入ってないから大丈夫だよ」と声をかけてくれました。

その子どもだんだんと気分を持ち直し最後はご飯をお代わりし、満足して食事を終えることが出来ました。「お家では大好きな野菜です」とお母さんから聞いた野菜でも、給食の時にはこれは好きではないと言う子どももいました。



味付けがかわると普段は好きなものもそうでなくなることがあると感じました。玄米ご飯が好きな子、野菜のお味噌汁が好きな子、何度もお代わりする子、お家のご飯よりおいしいから好きという子、いろいろな子どもがいます。とにかく皆よく食べ、毎回お味噌汁とご飯のお鍋は売切れの空っぽです。



給食を始める時は、新しい生活のリズムになじんでいけるのか心配でしたが、すぐに定着しました。子どもと一緒に野菜を切って準備をする楽しい時間が新たに増えて嬉しく思っています。

昨年冬に初めて子どもたちと味噌を作りました。味噌作りの得意なお母さんに手伝ってもらいました。夏休みにそっと味噌の入れ物をのぞいてみると濃くおいそうな色になっていました。

梅の時期には初めて梅干しもつけました。保護者に赤紫蘇を貰い、きれいな赤い梅干しが出来上がりました。自分たちで作ったお味噌を使ったお味噌汁、自分たちでつけた梅干し。そういったものを給食の時間にいただけるのはうれしいです。給食の時間が楽しくなります。これからも、このような温かなかけがえのない時間を積み重ねていきたいと思っています。

いつも支えて頂いている在園児保護者、卒園児保護者、また日頃からこの園の活動に関心を寄せて下さっている皆様方に本当に感謝しています。どうもありがとうございました。



## 給食

週2回（月・火）の給食が始まりました！毎週の給食を子どもたちも楽しみにしています。



## 親子クラスという場所

親子クラス担任  
寺本 藍

今年度の親子クラスは4組からのスタートでしたが、途中からのお申し込みもあり、後半は定員の6組満員！！沢山の方が参加してくださいました。回数を重ねるたびに「一緒に遊んでくれるお姉ちゃん」を意識したり、「何をしているのかな？」と友だちの様子を見てみたり、、と子どもたちの関係性が豊かになっていく姿をみて感動を覚えました。

親子クラスでは『どんぐりのおうち』の生活と同じようなリズムのあるプログラムで進みます。散歩で歩くのが苦手かな？という子も途中で電車を見るのを楽しんだり、公園に着くと思いつき走り回ったり、どんぐり拾いに夢中になったり。室内とはまた違った姿を見ることが出来ました。

子どもたちは今を全力で生きています。そんな子どもたちの姿から私たち大人はエネルギーをもらいます。その一方で、子どもたちは大人のエネルギーを吸収しながら成長していきます。お互いのエネルギーバランスがとれていることが何よりも大切です。けれども、時にはお母さんは供給過剰になってしまって、エネルギー不足になってしまうこともあります。親子クラスでは、お母さんたちのエネルギーをチャージできるような場所でありたいと思っています。

子どもが遊んでいる際にお母さんたちは手仕事をします。今年度は子どものおもちゃとなる羊毛ボールや遊び紐を作り、季節を部屋に飾るストロースターやモビールなどを作りました。初めて体験することに興味をもって参加くださったお母さん方。中には、「編み物が楽しくなりました！」と私にとっても嬉しいエネルギーがもらえることもありました。親子クラスにきて他のお母さんたちと話す中で、子育ての悩みや疲れがとれたり軽くなったり、エネルギーを満タンにしていった欲しいと思います。そしてまた笑顔で子どもたちと向き合えますように。



### 未就園児親子クラス(りすのおやこ)

対象：月齢7ヵ月～未就園児とその保護者

定員：6組

参加費：前期 全4回 8000円

後期 全4回 8000円

※開催日時など詳しくはホームページにて、お知らせいたします。

私は主に、月曜日、火曜日の助手をしています。幼稚園時代を大切に過ごすことがいかに大事であるかを感じながら、お手伝いさせていただいています。それは子ども達の身体全体からいつも感じるができます。

室内遊びは、朝のおやつ作りの後に始まります。創造していく力を最大限に発揮してお家を作ったり、乗り物に乗って宅配屋さんになったり。毎日の遊びは、毎日変化しますので、同じであっても子ども達には同じではないようです。「明日もまた遊ぼうね。」と会話が聞こえます。遊んでいる時、困ったことや揉め事があっても、先生の素敵な言葉かけですぐに解決することができますし、今までやっていた遊びが変わるきっかけになったりもします。

小さな集団だからといって、社会性が育まれないことはないと思っています。安心して培われていくことで、それぞれが自由への場所を見つけて歩いていくことでしょう。



## 保育の無償化

2020年3月に認可外保育施設になり、無償化対象の園になりました。  
無償化給付制度の詳細は、お住まいの自治体にご確認ください。

# 保護者の声

## <どんぐりのおうちにいれてよかったこと>

### 年長児保護者（母）

子どもが筆を持つとき、大人は書かせようとするけれど、ここでは色との出会いを大切にします。色と色が出合っている時間を味わっている。作品は二の次。世界の美しいものたちとじっくり、ゆっくり過ごせる。そんな自然との繋がりを感じる時間は、揺るぎない安定感となって子どもを支えている。

どんぐりのおうちで出会った先生、お母さん、お父さん方から学んだのは、人はこんなにも温かくて、助けてくれるんだということ。うちは共働きで、シュタイナー教育実施のために、家庭内で沢山の苦労を重ねているけれど、入園を後悔したことはありません。自分と世界を楽しんでいる子どもたちは幸せそうで、ここはかけがえのないギフトばかりです。

### 年中児保護者（父）

夏の喧騒から離れ、穏やかな秋の気配を感じ始める頃。季節の移り変わりと共に私たち家族三人も、住み慣れた都下から緑区に身を寄せました。転園はもちろん、仕事を在宅に切り替えるなど、変化に伴う不安と一緒に。そんな霧がかかった先行を優しく照らしてくれたのは、「どんぐりのおうち」に関わる皆様です。まずは日々の装いや食の事など、些細な質問にも親身になって指針を下さる先生方。保護者会では保育の様子のほか、シュタイナーに纏わる季節毎の設えや催しについても歴史や背景を交え詳しく教えて頂けます。そしてご家族や卒園した先輩が手を取り合い、そこに集う「小さなひとたち」の居場所をしっかりと支えているのを肌で感じる毎日です。



## 年中児保護者（母）

夏の余韻が残る9月下旬、息子はどんぐりのおうちへ転園しました。幸いにも遠足や収穫祭など秋の愉しみにも参加でき、新たな環境への変化にゆれながらも、ゆっくりと根を下ろし始めた姿にほっとしたところでした。私自身は、以前通っていた園とは違い、保護者も運営に関わっていく距離感に不安もありました。穏やかな読書会から始まる風通しのよい空気に包まれた定例会、先生方と準備から携わることで奥行きを深く感じ取れる行事、保護者の方たちと子どもたちが遊ぶ姿を見守りながら、日々のささやかなこととお話できる降園後の公園時間。一つ一つ時を重ねながら、少しずつ心ほどけ、いまここで見えてきた景色を大切にしたいと想う今日この頃です。



## 年中児保護者（父）

我が子がどんぐりのおうちに入園して、早いものでもう2年が経とうとしています。どんぐりのおうちは少人数保育のため、年少～年長が同じ空間・時間を共有します。そのため、自然と年齢が上の子が下の子を優しくお世話するようになりますが、いつの間にか我が家でも3つ下の弟を自然とお世話するようになりました。一緒に遊ぶのはもちろん、お着替えをさせてあげたり、おやつを食べさせてあげたり…お散歩の時にわざわざ自分が車道の方を歩いてあげている健気な様子を見て、何とも嬉しく幸せな気持ちで、どんぐりのおうちに入園させて良かったと心から思いました。毎日、毎月、毎年のリズムの中で、安心して伸びやかに、そしてしなやかに育ってくれている我が子の成長がこれからも楽しみでなりません。



## <メディアを見せない子育て>



### 年長児保護者（父）

今日からテレビを見せないでください。これは私が初めてシュタイナーの扉を開けた瞬間であり、子供の頃からゲーム三昧で育ち、ゲームがなければ遊べない生活だった私にとって、初めての大きな挑戦の始まりでした。

以前は子供に有名なアニメも見せておりましたし、突然見ないと伝えて泣かれたこともありましたが、意外とすぐに慣れるもので、それからは自然と絵本や外遊び、新しい遊びに興味を持つようになりました。テレビがない環境では、子供は能動的に育ち、想像力が驚くほど豊かに育まれ、子供の世界が無限に広がるのを実感いたしました。テレビやゲームといった受動的な遊びが主だった私が、もし子供の頃にシュタイナーの学びを知っていたのであれば、今の人生とはまた違っていただろうと、子供達を羨ましくも感じます。



### 年中児保護者（母）

シュタイナー教育でよく言われる「メディアを見せない」その理由の中でも、キャラクターはいらぬこだわりを生むこと。それがこどもにとって不自由であること。を知ったときの衝撃は今でも忘れません。妊娠出産を経るまでの私は、ごく普通の保育園で働き、こどもの前で幼児向け番組の歌を歌っていました。

そんな私が我が子と共にシュタイナー教育を実践してきて言えることは、子育ての中で「このキャラクターじゃなきゃいや！」と言って泣き叫ぶ我が子にうんざりするという場面が皆無だということです。それって親と子どもどちらにとっても幸せなことだと思いませんか？この教育にはこどもと穏やかな日々を過ごすヒントが他にもたくさん散りばめられています。そのヒントをぜひ多くの方に知ってもらいたいと思います。



## <どんぐりのおうちを選んだ理由>



### 年長児保護者（父）

大きく変動する世の中では「普通」は時代とともに変わります。今の普通は今の社会が決めた基準であり、数十年後には別の普通になっているかもしれません。

一方で「普遍」は過去も未来も変わりません。100年前からあるシュタイナー教育は、この普遍に目を向けています。「普通」の保育園や学校が、今の時代に必要とされる力を身につける場だとすれば、「普遍」のシュタイナー教育は、どの時代を生きても揺らがない心と体の土台を育む場です。遊びや模倣、くり返される生活のリズムの中で、子どもは安心し、自分の内側から育っていくのだとわかりました。

AIが発展し変わり続ける世の中で「いつか迷ったとき、戻れる場所」を、その願いが、どんぐりのおうちに入園した理由です。



寄付ありがとうございました！

2025年2月～2026年1月末までに、  
下記の皆様よりご寄付いただきました。  
ご厚意に心から感謝申し上げます。（敬省略）

石原靖久・石原美佐子・寺本義規・寺本藍  
千代継・千代由美子・上田奈々・河野道子  
横山義宏・横山径子・桃井綾子・松山周子  
薄井優・薄井裕香子・新谷千鶴・秋山真弓  
紙谷愛・藤田恵理・時を楽しむ会



# どんぐりのおうちを 一緒にサポートしませんか？



## 横浜シュタイナーどんぐりのおうちをささえる会

2006年4月に有志の保護者と教師により、シュタイナー幼児教育を実践する園が開園しました。ささえてくださる皆さまのおかげで、どんぐりのおうちは開園20周年を迎えることができます。どんぐりのおうちの活動に力を貸してくださる方のご入会をお待ちしております。

### 賛助会員

どんぐりのおうちを支える会  
年会費 3,000円

### 寄付

#### 口座振込

ゆうちょ銀行 : 記号10270 番号 27066141

ゆうちょ銀行以外 : 店名0二八 (ゼロニハチ) 店番028  
普通口座 2706614

## 誕生会とろうそくの灯

どんぐりのおうちの誕生会は、“遠い空の上の国に住んでいるひとりの小さな天使のお話”から始まります。

『いつもそばにいてくれる大きな天使は、小さな天使を連れてお父さんとお母さんを探しに出かけます。そして、小さな天使はお父さんとお母さんになる人を見つけます。大きな天使と小さな天使は、美しい星の子どもになるために必要な贈り物をもたらす旅に出かけます。長い旅が終わり、美しい星に虹のかけ橋がかかり、小さな天使はその虹を渡ってお父さんとお母さんのところにやってきました。』

先生が、ろうそくに一本ずつ火を灯しながら「0歳のときはね…」 「1歳になったね…」と、その子が歩んできた年月をやさしくたどります。

一本一本の火が灯っていくたびに、静かにあたたかい感動が広がり、最後の火が灯るころには、みんなの心がひとつに包まれるような喜びが訪れます。

そして、みんなで囲むその子のために焼かれたやさしいケーキ。「おいしいね」と微笑み合うこのひときは、子どもにとってもうれしく、お父さんとお母さんにとっても忘れがたい幸せな時間となります。

どんぐりのおうちに流れる儂くも美しい灯火が、みんなの心にそっと光り続けます。



# 園児募集

新入園児・途中入園児 募集中！  
まずは「園舎見学」への入園説明会も開催！  
日程はホームページでチェック



横浜シュタイナー  
どんぐりのおうち

*Yokohama Steiner Kindergarten*

045-985-7634

info@y-donguri.org

横浜市緑区十日市場町871-10ウライブ十日市場103



Homepage



Instagram

どんぐりだより第31号 2026年3月発行